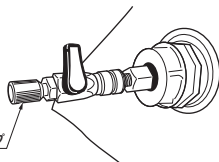


【移動】

- ① 移動する時は、ボールバルブを開いて、フレアキャップを装着させ、慎重に移動させてください。

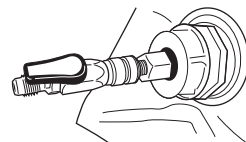
フレアキャップ



【排出】

- ① 排出する時は、ボールバルブを開け、回収バッグを軽く押すことで大気に排出することができます。

※この作業は、危険を伴う作業になりますので「安全にご使用いただくために」を十分理解して行ってください。



安全に作業するため、マニホールドおよび、ボールバルブの使用をお勧めします。

別販売品

コード番号	商品名	用途
XP852	3/8" チャージングホースプラスⅡ 30m 付 (ホースリール仕様)	30m ホースで離れた場所での 回収バッグが使用可能
Y19102	1/4"×3/8" クイックアダプタ (メス×オス)	XP852 の 3/8" フレアを 1/4" フレアに変換
HR009	1/4" ボールバルブ (メス×オス)	回収時や回収バッグからの大気 放出時に
HR020R	回収バッグ(小) 補修用	キャップにフレア継手等が付け られていないがない回収バッグ の補修用
HR021R	回収バッグ(大) 補修用	

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社
台湾浅田股份有限公司
アサダ・ベトナム社
アサダ・インド社
上海浅田進出口有限公司
アサダ USA

工 場
犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)
製品の使用方法に関するお問合せは
☎ 0120-114510 (イイソフト)
(受付時間) 9:00-12:00 / 13:30-17:30 (土・日・祝日は除く)

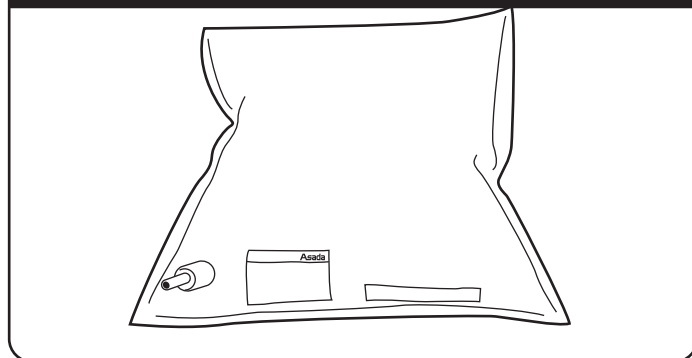
R290/R600a用

Asada

環境を守る親切ツール

回収バッグ

取扱説明書



火災
注意

可燃性物質を回収するバッグです。
回収作業時に火災の危険性があります。

〔ご使用前には必ず本取扱説明書をお読みください。〕

仕様

コード番号	HR020	HR021
商品名	回収バッグ(小)	回収バッグ(大)
最高充填圧力 (MPa)	0.00 (大気圧)	
適用冷媒	R290 / R600a	
最大充填質量 (g)	110(R290) / 130(R600a)	170(R290) / 200(R600a)
大きさ (mm)	W650×L750	W600×L1350
最高充填容量 (L)	約 45	約 70
ポートサイズ	1/4" オスフレア (ムシバルブ無)	

www.asada.co.jp

IM0657 Ver.0 A

安全にご使用いただくために

警告

R290・R600a 冷媒を回収するための回収バッグであり、指定以外のガスの回収に使用しないこと。

- 鋭角な物や、とがった物を回収バッグに接触させないこと。
- 表面に傷や打痕等がある回収バッグは、絶対使用しないこと。
- 使用前に蓋がしっかりと閉まっていることを確認し、緩んでいる状態で絶対に使用しないこと。
- 回収バッグは消耗品です。表面に異常が見られたら直ちに交換すること。
- 回収はゆっくり行い、指定圧力以上充填しないこと。破裂する恐れがあり、大変危険です。
- 着火源の付近で回収しないこと。可燃性ガスが漏れると爆発・火災の原因となる。主な着火源には以下がある。
 - ・裸火であるバーナ、ストーブ、ライター、ガスコンロなどの火気類
 - ・燃焼機器（燃焼式暖房機器、燃焼式給湯機器、燃焼式調理器など）
 - ・276.85度を超えるもの（ヒータ、電気コンロ、吸引時のたばこなど）
 - ・機械式のリレー又はブラシモータをもち、内部の着火が外部に至る電気機器（店舗内の電気機器、他の冷凍冷蔵機器の送風機など）
 - ・静電気帯電を利用した機器（コピー機、プリンタなど）
 - ・ON/OFF スイッチ（電気機器、照明器具、換気扇、真空ポンプなど）
 - ・機器を動作させたままの電源コンセントの抜き差し
 - ・火花を発生又はブラシモータ使用の電動工具（電動カッター、グラインダなどの火花を発生するもの及び電動ドライバなど）
 - ・人体からの静電気
 - ・防爆形でなく、かつ検知対象の可燃性冷媒に対して使用を許可されていない検知器及び携帯形漏えい検知器（トーチ式のものを含む）
- 回収バッグに可燃性ガスを充填した状態で、車両への積載を行わないこと。
- 回収した可燃性ガスを大気放出する際は、以下に注意して実施すること。
 - ・大気放出は、火気を取り扱う場所又は引火性若しくは発火性の物をたい積した場所を避け、かつ、通風の良い場所で少量ずつ行うこと。
 - ・移動の際、回収バッグを物に当てたり擦ったりしないこと。
 - ・放出の時、ポンプなどの圧力を変更するための装置を使用しないこと。
 - ・冷媒回路内の圧力が低くなり、回収バッグで冷媒を回収できなくなるまでこの作業を繰り返す。

使用方法



●回収はゆっくり行い、指定圧力以上充填しない。破裂する恐れがあり大変危険です。

最高充填圧力：0.00 MPa（大気圧）

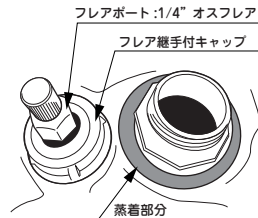
【回収準備】

① 回収バッグの口金に、フレア継手付キャップをしっかりとねじ込んで固定します。

※ ねじ込む際、回収バッグと口金の蒸着部分が破損しないよう十分注意してください。

② マニホールドの「センター」ポートと回収対象機器を接続し、「LOW」ポートと回収バッグをボールバルブを介して接続します。

※ マニホールドを使用しない場合は、絶対に回収バッグが一杯に膨らんだ状態まで回収せず、回収バッグの表面にしわが残る程度で完了させてください。



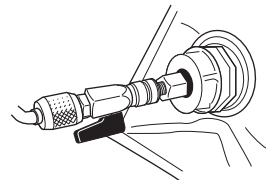
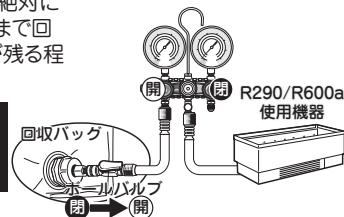
安全に作業するため、マニホールドおよび、ボールバルブの使用をお勧めします。

【回収作業】

① 回収バッグのフレア継手にチャージングホースに取り付けたボールバルブを接続します。

② 回収の際は、ボールバルブを少しずつ開けて、回収バッグへ絶対に圧力がかからないようにしてください。

③ 充填圧力（0.00MPa以下）を超えないように、マニホールドを使用して圧力をチェックしながら回収バッグに冷媒を回収してください。



※この作業は、危険を伴う作業になりますので「安全にご使用いただくために」を十分理解して行ってください。